

## 【港北区】令和8年第1回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和8年2月6日 午前10時40分 ～ 午後11時30分
場 所	港北区役所 4階 1号・2号会議室
出席者	<p>【座 長】佐藤祐文議員</p> <p>【議員 : 6名】福地茂議員、大山しょうじ議員、白井正子議員、かざまあさみ議員、望月康弘議員、大野トモイ議員</p> <p>【港北区:21名】竹下幸紀区長、酒井啓彦副区長、富田千秋福祉保健センター長、姫浦尊福祉保健センター担当部長、澤木勉港北土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	<p>1 令和8年度港北区予算編成の考え方について</p> <p>2 令和8年度個性ある区づくり推進費予算(案)について</p>
発言の要旨	<p>大山議員： ローリングストックの啓発について、区では啓発事業が多いが、啓発による効果や浸透度などアウトカムの把握は難しいのではないかと。事業効果をどのように測るのか、伺いたい。</p> <p>吉田総務課長： 事業の効果測定のはずしさは感じている。指標の一つとして、令和6年度区民意識調査における「3日分以上の食料の備蓄」をしている人の割合が44.6%であったことから、啓発を通じて、この数値を上げていきたいと考えている。</p> <p>大山議員： 事業のアウトカムについては、引き続き課題として意識しながら取り組んでほしい。</p> <p>大山議員： 4月からの自転車への青切符(交通反則通告制度)導入については、区民の関心も高い。動画やチラシによる啓発を行うとのことだが、具体的に決まっていることがあれば伺いたい。</p>

安達地域振興課長：

新たな制度について、効果的な広報が必要と考えている。具体的な内容は調整中だが、警察とも連携して実施していく。

大山議員：

動画の作成にあたっては、分かりやすさを重視してほしい。

大山議員：

高齢者向けの「おひとりさまパスポート(仮称)」については、作成できたら情報提供してほしい。高齢者へ配布することだが、作成部数を伺いたい。冊子をデータ化して共有することも有効ではないか。

阿部高齢・障害支援課長：

冊子については、3,500部程度の作成を予定している。民生委員等の関係者を通じて高齢者へ配布・周知するほか、データについてもウェブページ等で公開し、活用していただけるよう取り組んでいく。

大山議員：

3,500部の根拠と、対象者の何%程度となるのかを伺いたい。

阿部高齢・障害支援課長：

本冊子は、高齢者に元気な時期から活用していただくことを想定している。民生委員による75歳の一人暮らし高齢者への訪問時などに配布する予定であり、これまでの訪問実績が約7,000人であることから、その半数程度を網羅したいと考えている。

かざま議員：

災害時要援護者啓発推進事業の動画作成について、動画は自発的に視聴されにくく、高齢者には不慣れな方も多と思われる。広く視聴してもらうための取組について伺いたい。

阿部高齢・障害支援課長：

これまで自治会町内会向けに、本事業を知っていただくためのリーフレットによる啓発を実施してきた。今回、より広く区民向けの動画を作成し、日頃の顔の見える関係づくりから発災時の共助につなげられるよう周知

したい。動画は区役所や関係機関のデジタルサイネージで放映するほか、区ウェブページやYouTubeを活用した発信を予定している。

かざま議員：

自転車の青切符については、制度を知らない自転車利用者も多く、啓発が必要と感じている。若年層と高齢者を中心に啓発を行うとのことだが、その中間層や、これから自転車を利用する方を含めた啓発をどのように行うのか、伺いたい。

安達地域振興課長：

自転車については幅広い世代が利用することから、特定の層に限らず、広く制度の周知を図るとともに、ご指摘の点も踏まえて対応したい。

かざま議員：

自転車利用者を対象としたアンケート調査について、内容を伺いたい。

安達地域振興課長：

日吉駅・綱島駅を中心に、駐輪場利用者及び自転車を放置する人の声を把握したいと考えている。設問については調整中だが、放置の要因や駐輪場を利用しやすくする方策を伺い、施策に反映していきたい。また、自転車利用者のマナーも放置の一因と考えられるため、併せて確認したい。

かざま議員：

シェアサイクルポートや駐輪場スタンドへの放置も見られ、駐輪場不足は否めない。自転車を放置している当事者へのアンケートは容易ではないと思うが、取組に期待している。

竹下区長：

自転車については、正しいルールとマナーの啓発が重要と考えており、「広報よこはま」2月号で特集を掲載したところである。これを第一弾として、アンケートの実施など、さらに取組を進めていきたい。

白井議員：

令和5年度に放置自転車台数が減少しているが、マナー等の声かけを行う人の配置によるものかなど、分かることがあれば伺いたい。

安達地域振興課長：

道路局においても、人を配置して注意・啓発等の対策を実施しているが、放置自転車の台数は令和6年度に再び増加している。どうすれば放置自転車を減らすことができるのか、まずはアンケート調査により実態を把握したい。

白井議員：

アンケート結果は、今後の再開発に伴う駐輪場整備や放置自転車対策の参考になると思うので、ぜひ進めていただきたい。

白井議員：

港北区版寄り添い型生活支援専門員派遣事業について、こども青少年局予算との関連を伺いたい。

丸山こども家庭支援課長：

こども青少年局予算では、通所による支援事業を実施している。「港北区版」においては、区独自に専門員を子どもたちの元へ派遣して支援を行っている。

白井議員：

居場所の利用につなげる支援が重要と思うので、不登校児童の家庭の状況なども把握し、取組を進めてほしい。

白井議員：

港北オープンガーデン事業について、庭を公開している方の中には、環境等の専門的な知見を持つ方も多い。GREEN×EXPO 2027においても、そうした方々の力を発揮していただけるような取組が増えるとよいと考えるが、いかがか。

竹下区長：

様々なご活躍をされている区民が多くいらっしゃるので、GREEN×EXPO 2027のボランティア募集の情報を区から提供するなど、区としてもマッチングやご案内を行いたい。

白井議員：

オープンガーデン参加者の力を引き出せるよう、取り組んでほしい。

福地議員：

大倉山駅周辺の私有地における放置自転車が問題となっている。対策として、道路局による民営駐輪場への補助制度の活用なども有効と考えるため、協力をお願いしたい。

竹下区長：

現地の状況や制度等を確認し、道路局と連携して検討していきたい。

福地議員：

区社会福祉協議会が入居するビルに政治活動ポスターが多数掲示されていた件については、公共性の高い団体の利用環境として問題があるため、移転も含めて検討してほしい。

福地議員：

選挙の開票事務について、港北区では開票に時間がかかり深夜に及んでいる。開票立会人にも協力を依頼し、迅速に進めてほしい。

吉田総務課長：

立会人にも改めて協力を依頼し、迅速に作業を進めたい。

大野議員：

「両親教室での妊産婦・子育て世代向け防災講話の実施」については、大切な取組と考える。講話の規模や募集方法を伺いたい。

吉田総務課長：

毎月、区役所で実施している両親教室において、その参加者を対象に、区の防災担当職員から災害時の備えや避難行動について説明していく。

大野議員：

妊産婦や乳幼児のいる家庭については、自助による備えとともに、周囲が支える仕組みも必要と考える。鶴見区で母子専用型福祉避難所の運用が開始されたが、港北区において災害時に妊産婦や親子を支える取組があるか伺いたい。

吉田総務課長：

妊産婦・乳児の避難所については、先行する鶴見区の事例を確認し、検討していきたい。妊産婦や乳幼児は避難所で周囲に気を遣うことも多いと思われるため、在宅避難のメリットが大きいと考えている。自宅での備蓄を在宅避難に活用できるため、両親教室での防災講話でも重点的に伝えていく。

大野議員：

自宅に住み続けられる場合は在宅避難が安全であり、備蓄の啓発は大切と考える。

大野議員：

読書活動推進事業については、幼い頃から本に触れることが重要と考える。未就学児向けの取組の状況を伺いたい。

冨田地域振興課読書活動推進担当課長：

港北図書館において、未就学児向けのおはなし会等を月に6～7回程度実施しているほか、親子で参加できる催しも行っており、今後も進めていく予定である。

大野議員：

そうした場の周知・広報も必要と考える。港北区は子育て世代や、保育園等に子どもを預けて就労する家庭が多いことから、保育園や地域子育て支援拠点等における読書活動の推進や、図書館情報の発信にも力を入れてほしい。図書館は未就学児とその保護者にとって重要な居場所であることから、港北図書館の内装リノベーションについて未就学児とその保護者を対象としたアンケートを実施するなど、取組を進めてほしい。

冨田地域振興課読書活動推進担当課長：

図書館や区の読書活動をより多くの方に知っていただくため、広報の方法等を検討し、実施していきたい。

望月議員：

昨年12月に港北区に設置されたお悔やみ窓口について、利用状況を伺いたい。

	<p>平田戸籍課長：</p> <p>お悔やみ窓口の利用状況は、1日平均1.7件である。日によって利用状況は異なるが、予約が一杯で利用できないという状況は、現在のところ生じていない。</p> <p>望月議員：</p> <p>お悔やみ窓口を知らない方も多いと思う。お悔やみ窓口については、手続きの一本化等により遺族の負担軽減につながると考えるが、来年度の広報の取組について伺いたい。</p> <p>平田戸籍課長：</p> <p>具体的な広報については未定だが、市民局と事業者の契約や実施内容等を確認した上で、対応していきたい。</p> <p>佐藤議員：</p> <p>GREEN×EXPO 2027 の認知度向上に向け、区役所においても一層の取組を進めてほしい。</p>
備 考	